



明けましておめでとうございます。昨年は事業環境が厳しい年でしたが、今年は上昇気流に乗りたいものです。

T-Bizでは、企業の事業状況を判断する上で事業俯瞰となるクロスSWOT分析を行ってまいりましたが、昨年より顧客視点により踏み込んだNABCフレームワーク手法を新たに加えて企業の事業戦略における振り返り支援を行っています。NABCとは、N (Needs ; 顧客課題)、A (Approach ; 課題解決技術や新サービス方法)、B (Benefits ; 顧客側価値やビジネス価値)、C (Competitors ; 同業種だけでは無い参入想定企業の有無と動向) をマトリクス視点から自社の戦略シナリオを明確化し事業方針を可視化した上で意思決定する手法です。T-Bizは、今年も変動対応力と迅速性を重視しながら皆様の課題に向き合っており参ります。本年も宜しくお願いいたします。

東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 工藤 裕之

BioJapan・新価値創造展への参加報告、リアル開催展示会続々開催

■10/13~15、パシフィコ横浜で『BioJapan2021』がリアル開催され、T-BizからT B A・ファイトケミカルプロダクツ・Blue Practiceの3社が中小機構ブースで出展しました。T B Aは、来訪者から商品に対する評価を直接ヒアリングでき、他の出展ブースや開催セミナーから市場の中での自社の立ち位置が認識でき、今後への課題を再確認できたとのこと。リアル開催の成果と言えるでしょう。ファイトケミカルプロダクツは、国産米ぬか由来のスーパービタミンE「トコトリエノール」が含まれる『おこめのきもち』の商品サンプルを配布し、多数の商談を持つことができたとのこと。Blue Practiceは、センサ搭載の血管モデル『BIS-ORTA』を出展、デモンストレーションを実施し、限りなく生体組織に近い物性を有するORTAのデータ信号の精度は多くの来場者の目を惹きつけたとのこと。

■12/8~10には、東京ビッグサイトにて中小機構主催の『新価値創造展2021』がリアル開催され、東北マイクロテック、ボールウェーブの2社が出展しました。東北マイクロテックは、初日に経済産業省来賓の岩田政務官がブースを視察され、元吉社長が同社の三次元積層LSI技術を紹介しました。政府の半導体分野への期待の表れとも言え、非常に手ごたえのある出展になったようです。ボールウェーブは、JAXAと共同開発し、独自開発した手のひらサイズのガスクロマトグラフ『Sylph(シルフ)』を出展、8月の発表以降多くのメディアで紹介され、また各所の展示会に出展していますが、ここでも沢山の来訪者であふれていました。なお、12/1~24はオンライン開催されました。

■このほか、再開されたリアル開催展示会に、以下の入居企業が出展いたしました。
シグマアイ ……10/27~29 『量子コンピューティングEXPO』 幕張メッセ
大武・ルート工業 ……11/12~14 『日本リハビリテーション医学会』 名古屋国際会議場
ファイトケミカルプロダクツ ……11/17~19 『INCHEM TOKYO 2021』 幕張メッセ
ボールウェーブ ……10/27~29 『Smart Sensing 2021』 東京ビッグサイト、
11/8~10 『JASIS 2021』 幕張メッセ、12/15~17 『セミコンJAPAN』 東京ビッグサイト



ボールウェーブブース前で
左から宮川参事・赤尾社長・鈴木部長
来賓(経済省政務官)と懇談する
東北マイクロテック元吉社長(左)

主要メディア掲載のご紹介

■2021年9月24日 ボールウェーブ、東北大学・豊田合成との3社による新型コロナウイルスの高速センサ共同開発を発表。KHB東日本放送ニュース番組「チャージ！」で会見の様子が放映されました。日本経済新聞や日刊工業新聞にも掲載されました。

<http://ballwave.jp/pressrelea.html>



BallWave

■2021年11月1日付 化学工業日報
『手のひらサイズのGC ボールウェーブ来年めど本格量産』

■2021年10月4日 Blue Practiceの血管トレーニングモデルがTVドラマ『ラジエーションハウス2』に登場。甘春医師(本田翼)が日常的に治療のトレーニングを行っているシーンで。

<https://www.facebook.com/BluePracticeCo.Ltd/>

<https://bluepractice.co.jp/>



Blue Practice

■2021年11月18日付 日経産業新聞 日経XTECH 『量子計算機で自然科学の深淵をのぞく』
シグマアイ大関代表インタビュー記事 <https://sigmailab.com>
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/06025/>



■2021年12月4日号 週刊ダイヤモンドで三幸とE X Aが紹介されました。 <https://kk-sanko.co.jp/info/2021-11-29/>
<https://diamond.jp/articles/-/287889>



■2021年12月2日付 日刊工業新聞 12月18日付 河北新報
『仙台にショールーム 大武・ルート トレッドミル用』
<https://tm.ohatake-root.co.jp/>



■2021年11月24日より連載開始 日刊工業新聞
「T-Biz」ではじめよう 東北大学連携BI 入居企業紹介中

T-Biz入居企業ご紹介

ライフラボトリー株式会社



代表取締役社長
鈴木 和浩 氏

導入しやすい
先進の行動解析システムで
様々な企業の生産性向上を支援

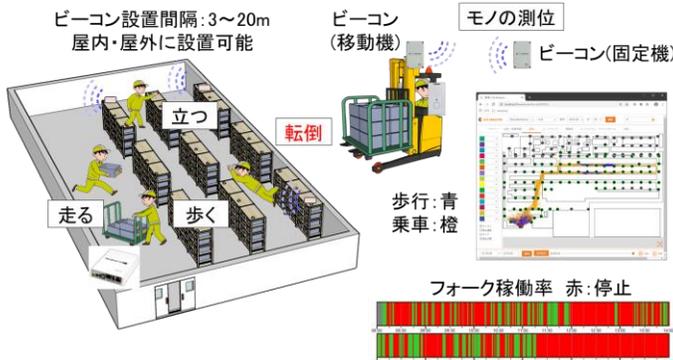
先進の行動解析システムとは？

少子高齢化が進む日本では、今後ますます労働人口の減少が進むといわれています。ビジネスの現場では、より一層の生産性の改善や業務の効率化が求められています。ライフラボトリーは、IoTを活用したセンシング技術により収集した莫大なデータを元に人・モノの動作を分析し、お客様の仕事・生活を改善するシステムとサービスを提供する課題解決企業です。

その行動解析システム『LifeAnalyzer』は、ウェアラブルセンサーやスマートデバイスにより、人・モノの動きをセンシングすると共に、柱・棚・天井に取付けたBluetoothビーコンからの電波強度の測定によりその位置を推定します。「いつ」「どこで」「何を」の情報を取得し、そのデータ分析にて作業や動線を見直し、生産性を改善するシステムです。ウェアラブルセンサーやスマートデバイスをポケットに入れているだけで何をしているかが分かり、ビーコンは乾電池で動作、ネットワークへの接続が不要ですのでどこにでも容易に設置が可能です。センサーで取得したデータは、ゲートウェイに近付くと自動的に吸い上げられサーバーに格納され、スマートデバイスの場合は、Wi-Fi・モバイル回線で直接転送されます。生産現場のほかに、オフィス・店舗や物流・流通業での業務効率向上への展開はもちろん、職員の安全確保や画像アップロード機能により、トラブル発生時の迅速な情報共有にも活用されています。

今後の目標と展望は？

2020年4月には、仙台市による「クロス・センダイ・ラボ」の近未来技術実証事業として、当社提案の『IoTを活用した位置情報および画像伝送システム実証』の実証実験が仙台市南蒲生浄化センターで行われました。また2021年は、仙台フィンランド健康福祉センターの委託事業に参加しており、病院や介護施設における入退管理への活用を推進しています。カードホルダービーコンと入院患者や要介護者が履くビーコン内蔵の靴により、施設内からの移動を検知するシステムを研究開発しています。これにより徘徊等による危険発生を未然に防止することが容易に、そして安価に可能となるでしょう。このように位置検知を安く、ソリューションとして提供する他に、測位精度の向上に取り組んでいます。測位精度が向上すると、測位に必要なビーコンの数が減少します。そうすることで導入とメンテナンスにかかる費用が低減し、より利用しやすいシステムとなるでしょう。



T-Biz入居のメリットは？

一つ目はIM(インキュベーションマネージャー)の存在です。事業サポートをしてくださるIMは、省庁・自治体・大学との交渉・手続き時の相談窓口になってくださるので、迅速に事業を進めることができます。二つ目は東北大学との連携のし易さです。T-Bizは東北大学の敷地内にあるので、大学が保有する最先端設備の利用や、それを利用した大学の先生からの学術指導を受けられる環境がすぐ近くにあり、大変助かっています。

《企業プロフィール》



2015年8月、富士通株式会社で行っていた、ウェアラブルセンサーの研究開発を製品化し、世に問いたいとの思いから設立。ウェアラブルセンサーやビーコンで把握した人・モノの動作を分析し、業務効率や安全性を向上させる行動解析システム“LifeAnalyzer”を提供している。先進の行動解析技術により高い成果と導入し易さを両立している。その独自の技術は製造業にとどまらず物流や流通といった様々な業界で使用されており、先進性と将来性が高く評価され、2020年11月にJ-Startup Tohoku企業に選定。

ライフラボトリー株式会社

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40
東北大学連携ビジネスインキュベータ 403号室
<http://www.lifelabs.co.jp/>



東北マイクロテック、エーアイシルク 新工場に量産ライン移転 増産体制構築へ

■三次元積層型LSI-MEMSデバイスを開発・製造する**東北マイクロテック株式会社**は、2021年4月より開始したみやぎ復興パーク(多賀城市)からパナソニック仙台工場内(名取市)への試作・製造ライン移転を8月に完了し、9月より順次稼働を開始しました。それに伴い、12インチ三次元積層ウェハ、3D-ICチップ等、今後、LSIが三次元化されるDXやAI、5G、Beyond 5Gをけん引するLSIチップの開発・プロトタイプ試作に対応できる試作体制の構築を図っています。

また同社は先日開催された『新価値創造展2021』に出展、ブースはたくさんの来場者でにぎわいました。同社の最新の三次元積層LSI技術は大きな反響があり、『市場の期待を強く感じた。これから新しい3D-IC技術で評価いただける製品を生み出して行きたい』と元吉社長は語ってくれました。日本で唯一無二のフレキシブルな12インチ3D-ICラインを持つ東北マイクロテック、2022年は大きく飛躍する1年になると期待されます。



東北マイクロテック株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40 T-Biz 203号室
新工場：宮城県名取市増田字北谷11番地 パナソニック(株)仙台工場内

T-Micro
Advanced 3D-IC & MEMS Technologies <http://www.t-microtec.com/>

■電気を伝える導電性繊維を製造する**エーアイシルク株式会社**は、従前から協力関係にあった三丸化学(株)と提携し2021年9月にT-Biz施設内の導電性繊維の量産ラインを宮城県村田町工業団地にある三丸化学工場内に移設しました。それに伴う設備投資により生産能力を従来比の5倍に増強、岡野社長によると『順次、新規導入設備を稼働させ、2022年6月からフル生産を行う計画』とのこと。現在、需要が旺盛な健康・スポーツ分野に向けて素材の増産を図る模様です。また、車載や医療用途への展開も計画中とのことですので、近い将来、市場から更なる増産を期待されるものと思われます。



SDGs経営にも積極的に取り組むエーアイシルク社、同社は環境に配慮したアルコール不使用の製造方法を確立し、今年2022年には新素材LEAD SKINを展開する予定です。

エーアイシルク株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40 T-Biz 301号室
新工場：宮城県柴田郡村田町大字村田字西ヶ丘12番地の1 三丸化学(株)内



AI SILK® <http://www.ai-silk.com/>

T-Biz主催セミナー開催報告……労務管理、メンタルヘルス、IPランドスケープ、ウェブサイトづくり

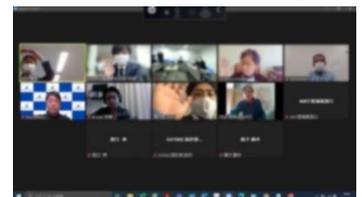
■仙台市雇用労働相談センター(仙台ELCC)様、東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe)様とT-Bizの共催により、10月8日に**労務管理セミナー『ベンチャー企業の成長を見据えた労務管理とは』**を、11月5日には『<管理職向け>今から始める!職場のメンタルヘルス・パワハラ対策セミナー』と、2ヶ月続けて仙台ELCC相談員である社会保険労務士の先生お二人に講義をいただきました。

労務管理セミナーには16名に参加いただき、テレワーク導入により表面化してきた労務管理上の注意点や労災事例など紹介いただき、また、テレワーク時の業務成果をどのように評価すべきかとの質問も寄せられ、活発な質疑が行われました。メンタルヘルス・パワハラ対策セミナーは初めて取り上げるテーマでしたが、15名の参加者の方と共に心の健康を守るための重要な対策に興味深く学びました。なお、このセミナーからは、新型コロナウイルスの落ち着いたを受けて、NICHe様大会議室でのリアルとZoomによるハイブリッド開催といたしました。

今回のセミナーでは、仙台ELCC様に動画視聴ができるよう配慮いただきました。なお、ご質問がありましたらIM室に問合せください。仙台ELCC様と一緒に疑問解決への支援をさせていただきます。 <https://www.sendai-elcc.jp/>



■工業所有権情報・研修館(INPIT)宮城県知財総合支援窓口様とT-Bizの共催により『**事業に役立つパテントマップ活用方法セミナー**』と題した、事業計画作成には必須の手法となった「IPランドスケープ」の概要と分析方法を学ぶ講義と相談会を知財アナリストの方を講師にお招きして11月17日に開催しました。企業価値の面で、更に企業の経営層は知財戦略に責任を負うことを求められる時代、知財戦略は、守りの意識が強い知財戦略(パテントマップ)に対して、攻めの意識が強い知財戦略(IPランドスケープ)が重要となってきています。当日は16名の方にご参加いただき、知財情報分析の概要とパテントマップ基礎知識の講義に始まり、気付き(仮説)に対する情報収集・分析の講義と続きましたが、盛り沢山のメニューのため時間切れとなってしまったと感じております。自社の事業戦略を立案・検討・協議し、その方向性を意思決定してゆく為の手法として一層重要視されるIPランドスケープ。従来手法による分析との違い・改善点・効果などを実感できるよう、近いうちに改めてセミナーや相談会を開催いたします。 <https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/miyagi/>



■12月17日は、(株)office PLAN B 代表取締役松本尚美氏をお招きし『**ベンチャー企業のための効果的なウェブサイトづくりと情報発信**』と題したWebサイト制作にまつわるポイントや、SNSとの連動、プレスリリースについてなど、ターゲットに響く情報発信の極意を学ぶセミナーを開催しました。ヒット率を上げるWebサイトの作成方法ノウハウ等を教わり、有意義なセミナーとなりました。今後のWebサイトの改善が期待されますね。

T-Bizは東北大学インターンシップ生の受入れを昨年に続き実施しています

■中小機構東北本部とT-Bizは、「大学高度人材への実践的インターンシップ」を目的に、東北大学発スタートアップの創出・育成の現場を体験する東北大学「短期インターンシップ」に参加しています。今年は東北大学経済学部B4の学生1名を受け入れ、支援手法に関する座学の他、セミナーの準備や参加、またこの広報誌『T-Bizで、はじめよう。』の「T-Biz入居企業ご紹介」ページ作成(OJT)にも関わってもらいました。

T-Biz 入居企業情報

■**仙台スマートマシース** リバネス社ディープテックグランプリ2021でTHK賞を受賞。
<http://www.ssmcoltd.co.jp/>
<https://lne.st/2021/09/13/dtg2021/>

■**加速キッチン** 三菱みらい育成財団の成果発表会でベストプレゼンテーション優秀賞を受賞。下記よりプレゼン動画視聴できます。
<https://www.youtube.com/watch?v=KDdNhuBONrM>

■**シグマイイ** 量子コンピューティングによる物流業務の効率化に向けた実証実験を凸版印刷と共に開始。11/16の日経産業新聞にも掲載されました。
https://sigmailab.com/index_jp.html

■**Blue Practiceと大武・ルート工業** 仙台市産業振興事業団発行「TOHOKU INNOVATION 東北連携 BUYER'S GUIDE2021-2022」に掲載。
https://www.siip.city.sendai.jp/tohoku_innovation/pdf/buyersguide.pdf

■**Blue Practice** 「THE INDEPENDENTS 2021年10月号」に掲載。
<http://www.independents.jp/article/item002160?back=/>

■**エーアイシルク** 岡野社長、スタ★アトピッチJAPANのバーチャルピッチ・ラン東北ブロックに登壇。
https://staatpitch.nikkei.co.jp/single-vol03.php?id=b02_01#singleMy

■**スーパーナノデザイン** 第24回「七十七ニュービジネス助成金」の贈呈先に決定。
<https://www.77bsf.or.jp/award/>

■**スカイファーマ** 21年度TOHOKU GROWTH ACCELERATOR (Growth course)に採択。
<https://www.sky-pharma.net/>

■**東北大学スタートアップガレージ**他の主催、中小機構共催により「東北大学ビジネスアイデアコンテスト2021」が12/18にT-Bizを会場に140名余りが参加してオンラインピッチが開催されました。
<https://www.tusg.jp/event/bizcon/2021/home#top>

■**J-Startup TOHOKU事務局**(東北経済産業局・仙台市)主催による「J-Startup TOHOKU Innovators Gathering in TOKYO」(12/22グローバルビジネスハブ東京で開催)に、**ファイトケミカルプロダクツ**、**Blue Practice**、**ライフラボラトリ**の3社が登壇しました。

■**ボールウェーブ** 2021年度 NEDO TRY に採択。空気中のウイルスを1分以内に検出するボールSAWセンサ開発を推進。
<http://ballwave.jp/images/20211216.pdf>

■**輝翠TECH** 11/19新規入居。農業用ロボテック+AI判断など複合システムを今後開発・生産します。
<https://kisuitech.com/>

T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



ウエットラボタイプ※
 研究開発や製品の試作・製造拠点、オフィスとしてご利用いただくタイプの居室
 ※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



オフィスタイプ
 主にオフィスとしてご利用いただくタイプの居室



会議室
 大人数の会議・セミナー等に使用できるプロジェクター・音響設備完備の共用会議室(1室・予約制)

T-Biz 入居者募集居室ご紹介 (2021年12月末現在)

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください。T-Bizにお問い合わせください。

ウエットラボ タイプ1	308号室(61.65㎡)
ウエットラボ タイプ2	現在空室はございません。今後の見通しは直接T-Bizにお問い合わせください。
オフィス	502号室(20.07㎡)

T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は
 地下鉄東西線「仙台」駅から「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。
 タクシーをご利用の場合(約15分)は「東北大学未来科学技術共同研究センター」と指示してください。その東隣です。



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

☎022-726-5866

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/>



●中小機構は、新たな一歩を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

インキュベーション 常駐する専門家が早期事業化を一貫してサポート	起業相談支援情報 AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業に役立つ情報サポート	アクセラレーション 資金調達や事業提携に向けた伴走型のアクセラレーター支援	ハンズオン支援～専門家派遣～ 個別の経営課題に応じて豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣	ビジネスマッチング 展示会・商談会や「J-GoodTech」サイトで販路開拓をサポート	創業支援拠点 TIP・S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート
--	--	---	--	---	--

Be a Great Small.
中小機構
 中小企業基盤整備機構
 東北本部